

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化はどこの施設においても課題の1つかと思いますが、当ホームにおいても看取りは現時点で出来ないものの、経口摂取が出来る間に対応しており、介護の必要性が多くなっています。状況によっては、意識消失や呼吸困難等になる可能性も考えられるが、そういった場合に職員一人ひとりが対応出来るかが課題である。	職員一人ひとりのスキルを上げるために、緊急時対応や『看取り』に関しての知識を共有していく。	①准看護師による定期的な勉強会。 ②外部講師による定期的な勉強会開催(ホームに来て頂き、少しでも多くの職員に参加してもらう)。③外部の研修への参加(小まめに情報収集を行い、限られた職員になるが参加して頂く。その後、内容を持ち帰って皆にフィードバックして頂く。)	6ヶ月
2	35	防災訓練は年間2回(内、1回は津波を想定した避難誘導訓練)継続している。12月1日には、地域の避難訓練に入居者3名連れて参加しました。ホームに入居している方で車椅子の方は多く、避難地までの坂道を上るのに、限られた職員数(特に夜間帯は)では限界がありま	年間1回は、近隣住民の協力による避難誘導訓練を実施する。	今月の推進会議でも、近隣住民の協力の必要性を伝えた。毎年9月に地区の避難訓練が行われるため、事前に近隣住民に直接協力要請をしておき、当日、開始の放送後にホームまで来て頂き、少しでも多くの方の車椅子を押して避難して頂く。	9ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。